

2024 年度第 1 回心理学部学術講演会は、下記の通り日本認知心理学会神経心理学部会が主催する研究会の共催として実施しました。

2024 年度第 3 回日本認知心理学会神経心理学部会研究会

神経心理学と認知心理学における記憶研究の今

主催：日本認知心理学会神経心理学部会
共催：学術変革領域研究（A）「生涯学」
神戸学院大学心理学部学術講演会

日程：2024 年 8 月 24 日（土）14:00-17:50（受付開始；13:30）

場所：神戸学院大学 神戸三宮サテライト

（〒 651-0096 神戸市中央区雲井通 7-1-1 ミント神戸 17F）

開会挨拶 部会長 松井 三枝（金沢大学国際基幹教育院） 14:00

講演

1. 江口 洋子（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室） 14:10 - 15:00
「生活を支える記憶とウェルビーイングを保つための記憶」

2. 山本 晃輔（法政大学理工学部創生科学科） 15:10 - 16:00
「高齢者を対象とした嗅覚と自伝的記憶に関する認知心理学研究」

休憩 16:00 - 16:20

3. 鈴木 麻希（大阪大学大学院連合小児発達学研究科） 16:20 - 17:10
「記憶障害へのアプローチ：症例と脳機能画像研究から」

4. 全体討論 17:10 - 17:40 清水 寛之（神戸学院大学心理学部）
博野 信次（神戸学院大学心理学部）

閉会挨拶 長谷川 千洋（神戸学院大学心理学部）

江口 洋子（えぐち・ようこ）

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 特任助教
公認心理師，上級専門心理士

「生活を支える記憶とウェルビーイングを保つための記憶」

臨床場面で記憶障害について精査するために、多くの標準化された検査が存在する。これらは、これまでの記憶研究の知見による記憶の分類に基づいて作成されており、概ね脳の部位と対応している。また別の切り口

としては、発症を契機としたエピソード記憶の健忘としての、前向性健忘と逆行性健忘がある。前向性は創意工夫により健忘の程度が客観化できる検査が開発されているが、逆行性健忘については、方法論的な難しさから多くは存在しない。我々は、逆行性健忘を社会的出来事記憶の低下について定量化する検査を以前に作成し、健忘患者やアルツハイマー型認知症の人における逆行性健忘の程度と内容について検討をしてきた。健忘患者は脳損傷部位に特徴的な健忘が生じるが、アルツハイマー型認知症は全年代の低下を示していた。いずれにしても、過去の記憶を思い出せないことは、本人の生活を支えてきた基盤を失うことでもあり、日常生活上深刻な問題を引き起こすと思われる。

発表者が実施している超高齢者を対象とした東京都荒川区コホート調査では Addenbrooke's Cognitive Examination (ACE) - III を実施し、正常加齢で記憶機能の低下が生じることを示唆する結果を得ている。記憶機能の低下が生じれば、前述のとおり生活に不便が生じたり、詐欺被害などの犯罪に巻き込まれたりして、本人の日常生活上に危険が生じる可能性が高まることが容易に想像できる。認知症高齢者であれば、さらに記憶機能だけでなく認知機能全般の機能低下が生じるため、地域では見守りが必須となるであろう。しかしながら、荒川区におけるエイジング・イン・プレイス（馴染みのある地域で高齢者が暮らしを継続すること）に関する質的調査からは、地域で暮らしを続けるために大変に思うことの語りには記憶能力の低下という要因は現れなかった。対して、暮らし続けるために助けになっていることとして、近所の人との交流、生きることへの肯定的な感情が要因として見出された。

発表では、このような健忘患者、認知症高齢者、超高齢者の記憶に関する研究を通じて、ライフステージごとに、生活を支える記憶とウェルビーイングを保つための記憶を区別して取り扱うことの意味について論じたいと考えている。

山本 晃輔（やまもと・こうすけ）

法政大学理工学部創生科学科 准教授
公認心理師，学校心理士，認定心理士

「高齢者を対象とした嗅覚と自伝的記憶に関する認知心理学研究」

日常的に、匂いとの遭遇をきっかけとして、過去の出来事が鮮明に思い出されることがある。このような現象は、プルースト現象と呼ばれ、主に自伝的記憶の観点から認知心理学的な研究が進められている。本講演では、嗅覚刺激によって想起される自伝的記憶に関する従来の研究について概説したのちに、高齢者を対象とした研究について主に3つの観点から紹介する。

第一に、嗅覚認知能力の加齢変化と記憶との関係として、いま嗅いだ匂いが何の匂いかわかる能力である嗅覚同定能力に注目し、この能力の個人差および加齢変化が想起される自伝的記憶特性に影響するかどうかを検討した。実験の結果、若年者では嗅覚同定能力が高い群では低い群よりも鮮明な自伝的記憶が想起されたが、高齢者ではそのような違いは確認されず、嗅覚同定能力と加齢により、想起される自伝的記憶に影響が生じる可能性が示唆された。

第二に、高齢者では若年者と比較してポジティブな内容の記憶が多く想起される現象である加齢性ポジティブ効果に注目し、この現象が嗅覚刺激による想起事態でも確認されるかを検討した。研究の結果、嗅覚刺激によっても加齢性ポジティブ効果が確認され、さらにはそれと主観的幸福感との関係性が示された。また、このようなポジティブな感情処理を含む嗅覚刺激による想起の機能を測定する新たな心理尺度が開発された。

第三に、嗅覚認知能力の低下を予防する方法として有用だと考えられている嗅覚刺激訓練法を取り上げ、この方法における自伝的記憶の役割を検討した実験を紹介する。高齢者を対象として、1ヶ月間嗅覚刺激による想起経験を記録する日誌法を課す群と、日誌法を課さない統制群を設定し、その前後で両群の嗅覚同定能力を比較した結果、日誌群では統制群と比較して1ヶ月後の嗅覚同定能力が有意に上昇した。また、アートやゲームを用いた最新の嗅覚刺激訓練法についても取り上げ、当該研究領域の今後の応用展開について議論したい。

鈴木 麻希（すずき・まき）

大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学 寄附講座 准教授
公認心理師，臨床神経心理士，上級専門心理士

「記憶障害へのアプローチ：症例と脳機能画像研究から」

記憶障害は、一般に日常の出来事の記憶であるエピソード記憶の障害を指す。エピソード記憶には、出来事の内容の情報だけではなく、時間や空間の情報に関する記憶が含まれる。エピソード記憶の選択的障害は健忘症候群とよばれ、内側側頭葉、間脳、前脳基底部など特定の脳領域の損傷により引き起こされるが、損傷部位により症状特徴が異なる。前脳基底部損傷による健忘では、出来事の時間順序の記憶障害が生じることが特徴の一つである。時間順序記憶に関わる神経基盤としては、前脳基底部（前頭葉眼窩面）の他に、外側前頭前野、海馬がよく知られるが、各脳領域の認知的役割は異なる可能性が指摘されている。

一方、脳の器質的損傷を伴わず、心的外傷的な出来事を契機として過去のエピソード記憶の障害が生じることがあり、解離性健忘（心因性健忘）とよばれる。典型的には発症前の出来事に関する記憶のみが失われる孤立性逆行性健忘がほとんどであるが、発症後の記憶も失われる場合（前向性健忘）、前頭葉機能障害や意味記憶障害を伴う場合があり、症状特徴は多彩である。これまで解離性健忘を呈する患者の神経心理学的プロフィールや脳機能画像による検討から、その発現に関わる神経基盤についても議論が進んでいる。

この講演では、まず記憶障害に関連する基礎的知識に触れた上で、①前脳基底部/前頭葉眼窩面の損傷により時間順序記憶の障害を呈した例、②解離性健忘を呈した例、を詳しく紹介する。これら症例に対して、演者らがおこなった神経心理学および脳機能画像的アプローチについて、各疾患の学術的背景を含めながら概説する予定である。特に神経心理学、認知神経科学、認知心理学の分野で研究をこころざす大学院生や若手研究者、また、いま臨床の現場で神経心理評価にたずさわっている公認心理師など医療従事者にとって、脳とこころの関係性を探るために必要な考え方や方法のヒントとなる情報を提供したい。

2024年度 第3回 日本認知心理学会神経心理学部会研究会

主催：日本認知心理学会神経心理学部会

共催：学術変革領域研究（A）「生涯学」
神戸学院大学心理学部学術講演会

テーマ

「神経心理学と認知心理学における記憶研究の今」

開会挨拶 部会長 松井 三枝 金沢大学国際基幹教育院

江口 洋子 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

「生活を支える記憶とウェルビーイングを保つための記憶」

山本 晃輔 法政大学理工学部創生科学科

「高齢者を対象とした嗅覚と自伝的記憶に関する
認知心理学研究」

鈴木 麻希 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

「記憶障害へのアプローチ：症例と脳機能画像研究から」

全体討論

清水 寛之

神戸学院大学心理学部

博野 信次

神戸学院大学心理学部

閉会挨拶 長谷川 千洋 神戸学院大学心理学部

参加費無料
&
当日参加OK



8月24日（土） 14:00～17:50



神戸学院大学 神戸三宮サテライト

〒651-0096 神戸市中央区雲井通7-1-1 ミント神戸17F



日本認知心理学会神経心理学部会研究会事前登録フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdv_e7BH7QzdV8VG0w-B3C5rlqXDz-nlwMI0LmmzTwFFZ-fUA/viewform?usp=sf_link

